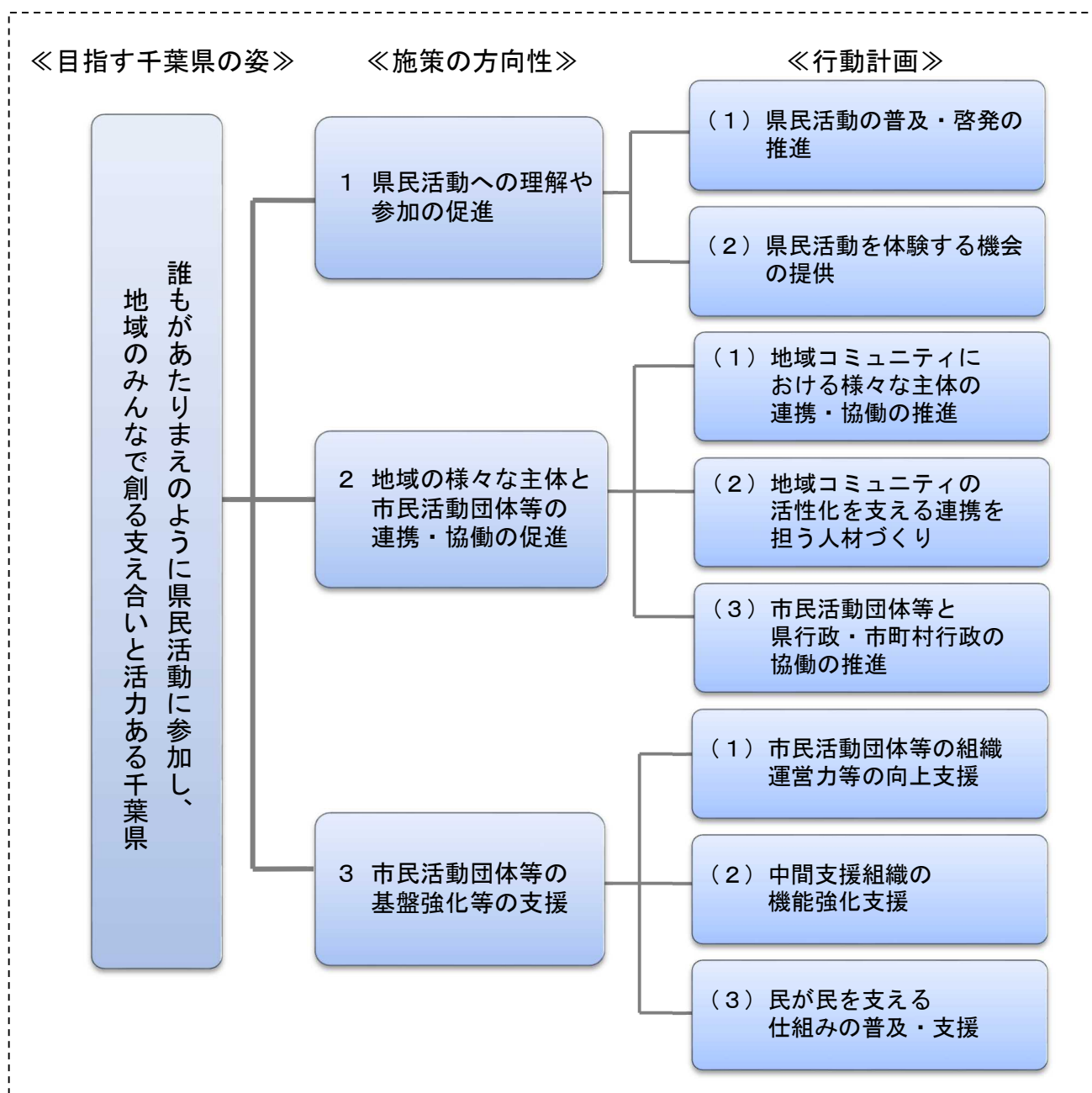


千葉県県民活動推進計画 平成28年度実施事業の実施結果

＜基本的な考え方＞

「千葉県県民活動推進計画（平成27～29年度）」では、施策の方向性を3つの柱に整理し、その柱に基づき8つの行動計画を定めています。



平成28年度は、計画の中間年度として、3つの施策の方向性と8つの行動計画に沿って、以下のように事業を推進することとしました。

「1 県民活動への理解や参加の促進」については、多くの県民がボランティア活動への参加機会を得られるよう、引き続き活動体験の場と機会を提供するとともに、市民活動団体に役立つ情報や東京2020オリンピック・パラリンピックに関する情報など県民活動に関する情報の収集、発信を強化し、誰もがボランティア活動に参加しやすい環境整備に努めていきます。

「2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進」については、協働に関する理解を深め、連携・協働のきっかけとなるよう、市民活動団体や行政、企業や学校など地域の様々な主体を対象に、各種研修会や交流会などを実施するほか、ちばコラボ大賞などの具体的な協働事例の情報発信を通して、連携・協働を推進していきます。

「3 市民活動団体等の基盤強化等の支援」については、市民活動団体等の活動が安定的、継続的に行われるよう、マネジメント能力の向上を目的とした講習会を行います。また、中間支援組織間ネットワークの連携強化や、スタッフのスキルアップのための研修会などを実施することにより、中間支援組織による市民活動団体の支援体制の充実を図るとともに、民が民を支える仕組みを支援します。

今年度の各事業の実施結果等については、4ページ以降に示すとおりです。

<達成度の表記について>

目標を達成＝◎ 目標を概ね（70%以上）達成＝○ 目標を未達成＝△

※現時点では以下の事業について評価及び達成度を記載しています。

- ・ 県民生活・文化課の事業
- ・ 他課の事業で1月末時点で事業が終了しているもの

千葉県県民活動推進計画 平成28年度実施事業一覧

施策の方向性	行動計画	No	事業名	再掲	担当所属	達成度
1 県民活動への理解や参加の促進	(1) 県民活動の普及啓発の推進	1	千葉県ホームページでの情報発信		県民生活・文化課	○
		2	NPO・ボランティア情報マガジンの配信		県民生活・文化課	○
		3	県民活動情報オフィスの運営		県民生活・文化課	○
		4	県民向け市民活動・ボランティア普及啓発		県民生活・文化課	○
		5	県民活動PR月間の実施		県民生活・文化課	◎
		6	出前説明会等の実施		県民生活・文化課	◎
		7	法人化説明会の実施		県民生活・文化課	◎
		8	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業		警察本部生活安全総務課	-
		9	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業		警察本部生活安全総務課	-
	(2) 県民活動を体験する機会の提供	10	ボランティア活動への参加促進		県民生活・文化課	◎
		11	ボランティアセンター・市民活動支援センター等研修会及び交流会の開催		県民生活・文化課	○
		12	地域と連携した福祉教育の推進		健康福祉指導課	◎
		13	ボランティア活動の振興(ボランティア振興事業)		健康福祉指導課	◎
		14	高校生のためのボランティア体験講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	○
		15	ボランティア入門講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	△
		16	ボランティア実践講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	△
		17	ボランティアスキルアップ講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	△
2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進	(1) 地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進	18	協働によるコミュニティづくりの普及・促進		県民生活・文化課	◎
		19	ちばコラボ大賞		県民生活・文化課	○
		20	千葉県男女共同参画センターフェスティバル&ネットワーク会議		男女共同参画センター	◎
		21	地域福祉フォーラムの設置・活動の促進		健康福祉指導課	△
		22	防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業		くらし安全推進課	◎
		23	環境講座開催事業		環境研究センター	◎
		24	ちば中小企業元気づくり基金事業地域プロデュース支援事業		経済政策課	○
		25	法人の森事業(法人の森協定)		森林課	◎
		26	里山活動の支援		森林課	○
		27	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業	(再掲)	警察本部生活安全総務課	-
	28	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業	(再掲)	警察本部生活安全総務課	-	
	29	千葉県警察学生サポーター「ChiPSS」活動		警察本部少年課(少年センター)	-	
	30	少年補導員・少年指導員活動		警察本部少年課(少年センター)	-	
	(2) 地域コミュニティの活性化を支える連携を担う人材づくり	31	災害時外国人サポーター養成講座		国際課	○
		32	通訳ボランティア養成事業		国際課	○
		33	災害対策コーディネーターの養成		防災政策課	◎
		34	災害対策コーディネータースキルアップ講座		防災政策課	◎
		35	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)育成事業		健康福祉指導課	○
		36	千葉県生涯大学校における地域を担う人材の育成		高齢者福祉課	◎
		37	食生活改善推進員研修事業		健康づくり支援課	◎
		38	がん検診推進員育成講習会事業		健康づくり支援課	◎
		39	精神保健福祉ボランティア育成事業		障害福祉課	◎
		40	外国語観光ボランティアガイド養成講座開催事業		観光企画課	○
		41	ちば食育ボランティアの活動支援		安全農業推進課	◎
		42	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業		教育庁生涯学習課	◎
		43	放課後子供教室推進事業		教育庁生涯学習課	◎
		44	「読み聞かせボランティア入門講座」の開催		教育庁中央図書館	○
	(3) 市民活動団体等と県行政・市町村行政の協働の推進	45	市町村と市民活動団体との連携促進事業		県民生活・文化課	○
		46	学校と市民活動団体との連携促進事業		県民生活・文化課	◎
		47	県・市町村推進会議の開催		県民生活・文化課	○
48		協働推進研修会の開催		県民生活・文化課	◎	
49		パートナーシップ推進員会議の開催		県民生活・文化課	◎	
3 等 等 市 民 活 動 団 体 等 の 支 援	(1) 市民活動団体等の組織運営力等の向上支援	50	市民活動マネジメント事業		県民生活・文化課	◎
		51	ボランティアセンター・市民活動支援センター等研修会及び交流会の開催	(再掲)	県民生活・文化課	○
	(2) 中間支援組織の機能強化支援	52	市民活動支援組織ネットワークによる中間支援組織の機能向上と連携強化		県民生活・文化課	△
		(3) 民が民を支える仕組みの普及・支援	53	民が民を支える仕組みの普及・支援		県民生活・文化課

< 各事業の概要及び進捗状況 >

1 県民活動への理解や参加の促進

活動に関する情報の不足が参加を妨げている要因となっている現状等を踏まえながら、様々な形で広報・普及啓発を行うだけでなく、より多くの県民が参加機会を得られるよう、活動体験の場と機会の提供、適切な情報発信に努めます。

【事業の実施状況】

県民のボランティア活動への理解と参加の促進を図るため、「ホームページでの情報発信」や「メールマガジンの発行」、「県民活動PR月間を活用した市町村等への広報支援」、「出前説明会」など、多くの県民の主体的な参加を促す環境づくりとして各種普及啓発事業を行ったほか、オリンピック・パラリンピックに向けたボランティア機運醸成のためのFacebookページ「ちばボランティア情報局」を新たに開設しました。また「ボランティア参加促進事業」を通して県内各地で様々な啓発イベントを実施しました。全体として当初に予定した内容及び目標については概ね達成することができました。

(1) 県民活動の普及啓発の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
1	千葉県ホームページでの情報発信 【県民生活・文化課】	県ホームページの特設サイト「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」において、NPO法人情報及び県のNPO・ボランティア関連施策情報、民間団体からの助成情報等を掲載する。 また、ボランティア関連情報のページに、各種ボランティアの募集情報や東京オリンピック・パラリンピック関連情報、災害ボランティア関連情報等を掲載する。	千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページビュー数 900,000件
2	NPO・ボランティア情報マガジンの配信 【県民生活・文化課】	NPO・ボランティア活動関連の各種事業やイベントなどの情報を随時配信する。また、県民活動に関する様々なトピックスや各種イベントのレポート記事などを掲載するニュースレターも月1回同時配信する。 また、ボランティア活動の参加を促す効果的な情報発信の方法について検討する。	年24回 (月2回) 配信

【成果指標】

目標項目	現 状 (26年度)		27年度	28年度	29年度
市民活動団体、ボランティア活動に関心がある人の割合	53.6% ^{※1}	目標	59.0%	64.5%	70.0%
		結果	43.6%	44.5%	
		目標比	-15.4%	-20.0%	
		前年比	-10.0%	+0.9%	
ボランティア活動に参加したことがある人の割合	18.3% ^{※2}	目標	20.5%	22.7%	25.0%
		結果	37.2%	35.6%	
		目標比	+16.7%	+12.9%	
		前年比	+18.9%	-1.6%	

※1 参考指標として、「市民活動団体の活動を知っている人の割合」を掲載
(第48回県政に関する世論調査結果より)

※2 第48回県政に関する世論調査結果より

【今後の課題】

成果指標については「市民活動団体、ボランティア活動に関心がある人の割合」が増加し、一方で「ボランティア活動に参加したことがある人の割合」は減少しました。

地域包括ケアシステムの構築や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催などに向けて、今後県民活動に対する関心が高まってくることが予想されますが、成果指標の推移から、県民活動への興味関心を実際の活動に結びつけられるような環境づくりが、まだ十分に進められていないと考えられます。

今後は県民活動に関する情報の収集、発信の強化を進めながら、多くの県民が参加機会を得られるよう、活動の場と機会の提供をより一層進めていく必要があります。

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>【アクセス件数】(平成29年3月末時点) ○県ホームページ(「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページ) ページビュー数 766,676件</p> <p>【情報発信件数】(平成29年3月末時点) ①民間団体等からの助成情報103件 ②千葉県が募集しているボランティア情報 23件</p>	<p>ページビュー数については目標を概ね達成しました。 千葉県NPO・ボランティア情報ネットの運営については、必要に応じて構成の見直しなどを行い、利便性を向上させるとともに、閲覧者の興味を引くことができるようなコンテンツの充実に努めていく必要があります。</p>	○
<p>配信回数: 23回(平成29年3月末時点) 内容: 研修会、講座、イベント情報、助成金情報等。 月末の配信時には「市民活動支援センター訪問記」等の記事を掲載した「ちばNPO・ボランティア活動ニュースレター」を同時配信。 会員数: 2,371名</p>	<p>ボランティア情報マガジンの配信数については、目標を概ね達成しました。ニュースレターについては、閲覧数の低下や、Facebookページ「ちばボランティア情報局」の開設などの状況を鑑み、今年度3月で休刊することとしました。 今後も県民活動の推進に効果的な情報発信の方法について検討し、適宜見直しを進めていくことが必要です。</p>	○

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
3	県民活動情報オフィスの運営 〔県民生活・文化課〕	県庁本庁舎2階の「県民活動情報オフィス」において、NPO法人の縦覧及び閲覧、NPO法人の設立時の各種相談、NPO・ボランティア関連情報の提供、ミーティングルーム等の貸出等のサービスを提供する。	オフィス利用者数 1,500名
4	県民向け市民活動・ボランティア普及啓発 〔県民生活・文化課〕	市民活動の基礎知識等を掲載したリーフレットや、各種普及啓発用グッズを様々な機会を捉えて配布し、県民活動の普及啓発をおこなう。	各種行事への出展 3回
5	県民活動PR月間の実施 〔県民生活・文化課〕	NPO法施行日である12月1日前後の1か月（11/23～12/23）を「ちば県民活動PR月間」とし、県民にNPO・ボランティア活動を知ってもらい、活動への参加に繋がるようなイベントを行う市町村や市民活動団体へ広報支援を行う。	ちば県民活動PR月間賛同行事 20件
6	出前説明会等の実施 〔県民生活・文化課〕	NPOやボランティアの基礎知識、県の施策状況などについての説明会を県内各地に赴き、実施する。	開催回数 6回
7	法人化説明会の実施 〔県民生活・文化課〕	NPO法人格の取得を検討している方を対象に、NPO法人制度や設立手続についての説明会を千葉市と共催で月1回開催する。また、うち4回は夜間に開催する。	開催回数 12回

進捗状況	現時点での評価	達成度
オフィス利用状況(平成29年3月末現在) ○NPO法人等の各種相談 : 549件 ○情報検索等窓口対応 : 375名 ○電話問合せ等対応 : 182名 ○ミーティングスペース利用 : 145名 計1,251名	県民活動情報オフィス利用者数は、目標を概ね達成しました。 今後も、オフィス機能の見直しや強化について検討するとともに、オフィスの利用促進に向けて、県ホームページや各種研修会等で広報を行っていきます。	○
県及び他団体の開催する行事に出展し、クイズやアンケートを実施 ・県民の日中央行事 6月19日(日) 参加者921名 ・エコメッセ 9月22日(木) 参加者453名 ・印旛沼流域環境・体験フェア 10月29日(土) 参加者303名	イベントへの出展については、県民の日中央行事、エコメッセ及び印旛沼流域環境・体験フェアの3行事に出展し広報・アンケート等を行い、目標を達成しました。 今後も様々な機会を活用して県民活動の広報活動を進めていく必要があります。	○
・市町村及び市民活動団体に対し、ちば県民活動PR月間賛同行事の募集を実施 実施件数 25件(内訳 市町村20件、市民活動団体5団体) ・千葉県HPへの掲載や、PRグッズを提供して広報支援を実施	市町村及び民間団体から、目標を上回る件数の賛同行事の協力があり、広報支援を行いました。来年度は更に件数を増やすよう、呼びかけを行っていきます。	◎
開催件数 11回 延べ参加者数455名	開催回数、参加者数ともに、H27年度末実績の7回139人を大きく上回るとともに、実施目標6回の開催を達成した。今後とも多くの説明の機会を確保できるよう講座の周知に努めます。	◎
開催回数12回 参加者92人(平成29年3月末現在)(内訳) 第1回(4月14日)10人 第2回(5月12日)6人 第3回(6月9日)8人 第4回(7月14日)10人 第5回(8月10日)8人 第6回(9月8日)4人 第7回(10月13日)12人 第8回(11月10日)8人 第9回(12月8日)6人 第10回(1月12日)6人 第11回(2月9日)6人 第12回(3月9日)8人	月に1度開催しており、目標を達成しました。今後も、法人格取得を目指す人々の県民活動への理解・参加を促進するために、個別の相談にも随時対応し、法人化説明会等の内容を充実させていくことが必要です。	◎

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
8	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業〔警察本部生活安全総務課〕	自主防犯活動に意欲のある若い世代（県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満）により若手防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」を結成し、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図る。また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施する。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。
9	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業〔警察本部生活安全総務課〕	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施する。その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催する。さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施する。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。

(2) 県民活動を体験する機会の提供

No.	事業名	事業概要	実施目標
10	ボランティア活動への参加促進〔県民生活・文化課〕	県全体のボランティア活動の推進を図るため、活動体験等を通じた地域のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行う事業を実施する。	3事業の実施

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>県内外各地で実施された防犯キャンペーンや研修会に「ブルー・スターズ」の会員が延べ10回58人参加した。また、平成29年3月末までに、新規会員10人が入会した。</p> <p>【ブルー・スターズ参加のキャンペーン等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密輸防止キャンペーン(成田市) ・「ロックの日」防犯キャンペーン(千葉市) ・痴漢撲滅キャンペーン(浦安市) ・薬物乱用防止キャンペーン(千葉市) ・地域防犯力の向上に関する交流大会(千葉市) ・警察ふれあいフェスタ2016(千葉市) ・ブルー・スターズ研修会(警察本部) ・読売防犯セミナー(習志野市) ・年末年始特別警戒取締り出動式(千葉市) ・ブルー・スターズ総会(警察本部)(3月実施) 	<p>県内各地で開催された防犯キャンペーンや研修会に「ブルー・スターズ」の会員が参加したことにより、若年層の防犯意識や規範意識の向上が図られた。今後は、新規会員の更なる増加を目指すとともに、会員による自主的な運営、県内外の他団体との交流を図ることが課題である。</p>	<p>新規会員が増加し、各種イベントにおいて活躍した。</p>
<p>自主防犯ボランティア団体の普及や活動の活性化等を図るため、次の活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察官との合同パトロール 2,964件 ・防犯講話 5,321件 ・広報啓発キャンペーン 969件 <p>(いずれも数値は平成28年中)</p>	<p>合同パトロール、防犯講話等の実施により、自主防犯ボランティア団体の活動の活性化が図られた。自主防犯ボランティア団体を構成する者の高齢化が進んでおり、若い世代の参加促進を図ることが課題である。</p>	<p>自主防犯団体に対し、防犯講話や情報提供を通じて、その活動の支援を促進した。</p>

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>企画提案による業務委託で実施。</p> <p>応募団体5団体 採択団体3団体</p> <p>①特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば「2020ちばおもてなし隊セカンドステージ～育て！パラリンピックボランティア～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック・ボランティアについての学習会(3回開催) 参加者115名 ・リオ・パラリンピック出場者との交流会(3回開催) 参加者80名 ・パラリンピック競技体験会(2回開催) 参加者150名 ・全体交流会(オリ・パラでのボランティア参画に向けたアイデアの報告会及び参加者によるグループディスカッション) 参加者85名 <p>②特定非営利活動法人ディーデモクラシー・センター「チーボラ大作戦2016」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアコーディネーター養成講座(4回開催) 参加者70名 ・市民活動団体向け情報発信講座(3回開催) 参加者41名 ・ウェブサイトでマッチングしたボランティア体験の実施 参加者3名 <p>③特定非営利活動法人子ども未来推進プロジェクト「2020年東京オリンピックに向けた英語通訳ボランティア育成プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象とした英会話サークル(11回開催) 参加者130名 ・小学生を対象とした英語アフタースクール(2回開催) 参加者16名 	<p>事業の実施数については、目標を達成しました。</p> <p>各事業について</p> <p>①「2020ちばおもてなし隊セカンドステージ～育て！パラリンピックボランティア～」では、パラリンピックに焦点を当て、4年後にボランティア活動の主力世代である高校生・大学生を対象に、パラリンピックのボランティアについての学習会、リオ・パラリンピック出場者との交流会、パラリンピック競技体験会、全体交流会を開催し、パラリンピックボランティアへの理解を深めるとともに、オリ・パラでのボランティア参画に向けたアイデアを実現していくための提案を行う等、若い世代の参加促進に繋がるものとなりました。</p> <p>②「チーボラ大作戦2016」では、ボランティアセンター、市民活動支援センター等のスタッフを対象に、ボランティアコーディネーター養成講座を実施し、ボランティアのコーディネートに必要なスキルや知識を学習形式で学び、コーディネーション力の向上を図ることができました。また、市民活動団体向けに情報発信講座を実施し、インターネットの無料のwebサービスを利用し、情報を発信していく方法を学び、情報発信力の向上により、ボランティア参加の機会を増やすことに繋がりました。さらに、Webサービスを活用してボランティア希望者と受け入れ団体とのマッチングを実施し、ボランティア体験の機会を提供しました。</p> <p>③「2020年東京オリンピックに向けた英語通訳ボランティア育成プロジェクト」では、地域住民、高校生が参加しやすいよう、公民館や高校で英会話サークルを開催し、また小学生が参加しやすいよう、小学校で英語アフタースクールを開催し、より多くの、また幅広い層のボランティアを育成することができました。</p> <p>今後は、応募件数や各事業の参加者の増加を図るため、広報について工夫する必要があります。</p>	<p>◎</p>

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
11	ボランティアセンター・市民活動支援センター等研修会及び交流会の開催 〔県民生活・文化課〕	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催する。	開催回数：1回 参加人数：50名
12	地域と連携した福祉教育の推進 〔健康福祉指導課〕	県民の福祉に対する理解と関心を深め、福祉活動への自発的な参加意欲を醸成するため ・小・中・高校を対象に福祉教育推進校を指定 ・福祉教育研究県大会及び福祉教育推進員養成研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな推進校の指定 ・福祉教育研究県大会の開催 ・福祉教育推進員養成研修の実施
13	ボランティア活動の振興（ボランティア振興事業） 〔健康福祉指導課〕	ボランティア等の民間福祉活動の育成発展を図るため、各種ボランティア研修事業等を行う千葉県ボランティア・市民活動センターの運営や研修事業を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県ボランティア・市民活動センターの運営事業補助 ・研修事業補助（ボランティア・市民活動コーディネーター研修、リーダー研修、新たな担い手育成セミナー）
14	高校生のためのボランティア体験講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティア活動に関心のある千葉県内の高等学校に在学している者を対象に様々な分野のボランティアについての講義と演習を実施する。	開催日数6日間 実習7時間以上 50名

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>3/15 市町村ボランティアセンター・市町村市民活動支援センター合同研修会及び交流会 内容</p> <p>(1) 講演及びトークセッション テーマ「災害時に効果的な連携が可能となる 平常時からの取り組み～広島土砂災害 における支援活動を振り返る～」 講師 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 代表理事 センター長 中村隆行 氏</p> <p>(2) 事例発表 ①「防災ハンドブックの制作～災害に備える コミュニティづくりについて～」 NPO法人パートナーシップながれやま 代表 山口文代氏 ②「常設型災害ボランティアセンターの取り組み について」 浦安市社会福祉協議会 佐久間大輔 氏</p> <p>(3) ワークショップ テーマ「今、地域力を高めるために中間支援組織 の取り組むこと」</p> <p>(4) 交流会</p>	<p>参加人数については、目標には至らなかったものの、研修内容については、アンケート回答者15名のうち、12名が「大変よかった」「よかった」と回答しており、好評を得ることができました。</p> <p>基調講演では、災害の中での中間支援組織の意義と現状、機能について再確認することができ、ワークショップでは、グループマインドマップの作成などを行い、ボランティアセンター、市民活動支援センター双方のスタッフにとって有意義な研修会となりました。</p> <p>今後はより多くのセンタースタッフに参加してもらえるよう内容の検討などを行い、中間支援組織の機能充実に向けた支援を進めていきます。</p>	○
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度指定校 小学校12校、中学校6校、高等学校6校 ・福祉教育研究県大会 8/23開催 参加者259名 ・福祉教育推進員養成研修 実施日 4/21, 7/29, 8/2, 8/23, 8/24 修了者 19名 	<p>福祉教育推進校の指定、福祉教育研究県大会の開催及び福祉教育推進員養成研修の開催については目標どおり実施することができました。</p> <p>今後もこれらの取組みを推進していきます。</p>	◎
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度ボランティアコーディネーター研修 実施日 10/28, 11/25, 12/12 参加人数 計57名 ・平成28年度ボランティアリーダー研修 実施日 9/16, 10/11, 11/11, 1/27. 2/28 参加人数 各36名、65名、50名、21名、42名 ・平成28年度新たな担い手育成セミナー 実施日 1/24, 2/19 参加人数 計58名 	<p>千葉県ボランティア・市民活動センターの運営事業補助及び、各種の研修事業補助（ボランティア・市民活動コーディネーター研修、リーダー研修、新たな担い手育成セミナー）について目標どおり実施することができました。</p> <p>今後もこれらの取組みを推進していきます。</p>	◎
<ul style="list-style-type: none"> ①6/18ボランティアの心構え ②7/10福祉ボランティア ③7/18知的障害のある方との交流 認知症について ④7/21共生について学ぶ ⑤9/17災害時のボランティア、 国際ボランティア ⑥9/25実践発表 会場：さわやかちば県民プラザ 参加者：のべ215名 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の高校生を対象に、講座・体験活動・ボランティア活動を通して、ボランティアの心得や在り方をはじめ、様々なボランティア活動について学ぶ機会を提供することで、ボランティア活動への意欲を高めさせることができた。参加者44人。 ・高校生にとって魅力ある事業として継続していくため、講座・実習内容を精選し、社会的課題を踏まえた内容を講座に取り入れていく。また、高校生がより受講しやすくなるよう学校行事と重ならないよう日程を調整するなどしていく。 	○

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
15	ボランティア入門講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティアを始めたいと思っている方や興味のある方を対象に、ボランティアの基本や身近にできるボランティアについて学ぶ講座を開催する。	開催回数1回 参加数30人
16	ボランティア実践講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティアの具体的な実践を学び合うことにより、ボランティア活動を効果的に進める実践力を向上させる講座を開催する。	開催回数1回 参加数30人
17	ボランティアスキルアップ講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティア活動者及び、ボランティア活動に関心のある方を対象に、ボランティア活動に不可欠なコミュニケーション力向上とネットワークづくりを図る講座を開催する。	開催回数1回 参加数30人

進捗状況	現時点での評価	達成度
7/10 第一部 手話を交えたラフターヨガ 第二部 福祉車両・車いす体験、障害模擬体験 会場：さわやかちば県民プラザ 参加者：14名	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア未経験の方や興味のある方に、ボランティアの基礎を学んでもらうことができた。また、講座開設時から「高校生のためのボランティア体験講座」受講生と共に活動し交流を図る場面があることから、参加者の評価が高い。参加者14人。 ・今後も「ボランティア活動未経験者」の講座参加を増やしていくため、講座内容を精選し工夫するとともに、より積極的な広報活動をしていく。 	△
9/11 第一部 障害者への合理的配慮 第二部 身近に出来るボランティアの実践 会場：さわやかちば県民プラザ 参加者：8名	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が実践的講座を受講する中で、ボランティア活動に主体的に関わりたいという意欲が生じてきた。また、参加者同士がボランティア体験談を話しながら交流したり、ネットワーク作りをするなど、相互に学びあう場となっている。参加者8人。 ・継続的に「ボランティア経験者」の講座参加を増やしていくため、講座内容を精選し工夫するとともに、より積極的な広報活動をしていく。 	△
3/5実施 「ふれあい囲碁」を通じて、合理的配慮を学ぶ 参加者：10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア精神とコミュニケーションの両面から「合理的配慮」を具体的に学ぶワークショップを行った。ゲームを進行する中で、対局者同士が直接交流をすることにより合理的な配慮を自然な形で理解することができた。 ・当日は、「まなびネットちば」奨励証交付式と同時開催し、参加者同士の交流の場を設けることで、今後のボランティア活動の意欲づけに寄与することができた。 	△

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

行政、中間支援組織、市民活動団体、地縁団体、社会福祉協議会、学校、企業など多様な主体が連携・協働して行う地域の課題解決に向けた取組や仕組みづくりへの支援や、県行政と市町村行政の間の情報共有などによる協働の推進を図ります。

【事業の実施状況】

地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働を促進するため、県が支援した協働による取組が過去に行われていない地域を主な対象として、協働への理解を深めるための機会を提供する「協働によるコミュニティづくりの普及・促進」事業を実施したほか、県内の優良な連携事例を表彰する「ちばコラボ大賞」を実施しました。

協働によるコミュニティづくりの普及・促進では、企業や大学等を主なターゲットとしたセミナーや、多種多様なテーマによる研修会を実施するなど、様々な主体に対して協働についての関心を高めることのできる機会を提供することができました。また県・市町村の行政職員や教職員を対象にした協働推進のための各種研修等も行い、地域の様々な主体の連携の促進に取り組みました。全体として年度当初に予定した内容及び目標については、概ね達成することができました。

(1) 地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
18	協働によるコミュニティづくりの普及・促進 〔県民生活・文化課〕	過去に県が支援した協働による取組が行われていない地域等を対象に、市町村と地縁団体、市民活動団体、企業等が、協働による取組を検討する契機となるよう、有識者による講演や優良事例の共有等を行う。また、各地で活動を行っている主体が、地域を超えた連携・協働につながる契機となるような交流会を実施する。	それぞれ県内3地域で実施

【成果指標】

目標項目	現 状 (26年度)	27年度			28年度			29年度					
		目標	結果	目標比	前年比	目標	結果	目標比	前年比	目標	結果	目標比	前年比
地域の様々な主体と連携している市民活動団体の割合	68.2%※1	目標	70.5%	72.8%	75.0%								
		結果	66.7%	69.3%									
		目標比	+3.8%	+3.5%									
		前年比	-1.5%	+2.6%									
市町村行政・県行政と市民活動団体との協働事業の件数	469件※2	目標	513件	557件	600件								
		結果	502件	580件									
		目標比	+11件	+23件									
		前年比	+33件	+78件									

※1 千葉県NPO法人実態調査結果より

※2 千葉県NPO・ボランティア関連事業一覧、県内市町村NPO・ボランティア関連事業一覧より(千葉市は独自集計のため、件数に含まれていません。)

【今後の課題】

成果指標である「地域の様々な主体と連携している市民活動団体の割合」は増加したものの目標は達成できませんでした。一方「市町村行政・県行政と市民活動団体との協働事業の件数」については目標を達成することができました。

協働の取組の促進については、協働に関する理解を深め、各主体間に共通の認識を作り上げることと様々な主体が出合うことのできる場を提供することが重要なため、今後も引き続き様々な主体の交流の場の提供と優良な協働事例の情報発信等の支援を行っていく必要があります。

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>(1)4地域(君津、長生、印旛、夷隅)の市町村へのヒアリング (2)以下の研修・交流会を実施しました。 それぞれの「日程」・「会場」・「出席者数」は以下のとおりです。</p> <p>①千葉地域 ・交流会「その後のちばコラボ大賞事例」 (6月20日、きぼーる、74名) ・交流会「企業の社会との関わりとまちづくり」 (11月1日、千葉商工会議所、43名) ・研修会「民から民へ、寄附が繋げる地域社会」 (12月16日、きぼーる、52名)</p> <p>②君津地域 ・研修会「地域に活動を波及させる事業戦略」 (7月26日、イオンモール木更津イオンホール、 午前の部32名、午後の部34名) ・研修会「活動事例から学ぶ協働のポイント」 (8月9日、木更津市役所朝日庁舎、36名) ・交流会 午前の部「子どもとコミュニティから考えるまちづくり」 午後の部「福祉とコミュニティから考えるまちづくり」 (11月30日、イオンモール木更津イオンホール、 午前の部18名、午後の部18名)</p> <p>③印旛地域 ・研修会「助成金活用セミナー」 (8月7日、富里中央公民館、53名)</p> <p>④長生地域 ・研修会「自治会を軸にした協働事例とそのポイント」 (8月17日、茂原市役所、88名) ・研修会「地域のコラボを生み出すファシリテーション」 (10月18日、茂原市役所、43名) ・交流会「地域活性化・魅力発信から考えるまちづくり」 (1月23日、茂原市役所、42名)</p> <p>⑤夷隅地域 ・研修会「地域と大学の連携による共助社会づくり」 (11月11日、いすみ市役所大原庁舎、75名)</p>	<p>研修会は5地域で7回、交流会は3地域で4回を開催し、事業実施目標を達成しました。 各地域の状況に応じた内容、また円滑な運営のため、市町村等や関係団体及び講師(候補を含む)と連携しながら実施しました。 様々なテーマで開催を重ねる中で、当課と関係部署や関係団体との関係構築にもつながっています。 今後も、関係部署や団体と情報交換を重ねるなど連携を深めながら、より良い内容での実施、積極的な広報・PRを図りたいと思います。</p>	◎

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
19	ちばコラボ大賞 〔県民生活・文化課〕	市民活動団体が地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等と連携して、それぞれの特性を活かしながら地域社会の課題解決に取り組んでいる事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例に取り組んでいる団体を表彰し、広く県民に周知することにより、連携による地域づくりの促進を図る。	応募件数15件以上 (平成27年度11件) 表彰事例3事例 (平成27年度3事例)
20	千葉県男女共同参画センターフェスティバル&ネットワーク会議 〔男女共同参画センター〕	本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、県民に男女共同参画への理解を深めていただくとともに、男女共同参画に取り組む民間団体と県民の交流の場を提供する「センターフェスティバル&ネットワーク会議」を開催する。 ・企画運営委員会（ボランティア）の設置 ・ワークショップ、ネットワーク会議の開催	開催回数1回 様々な分野における地域活動を行っている民間団体に、男女共同参画の理解促進を図り、ネットワークづくりを進めることを目的とする。
21	地域福祉フォーラムの設置・活動の促進 〔健康福祉指導課〕	地域住民が、社会福祉協議会や民生委員・児童委員、NPO等地域福祉の担い手、更には福祉以外の各分野の人たちと協働して、地域における福祉等のあり方・取組みを考えていく組織である地域福祉フォーラムの設置を促進する。	新規設置数 小域 20箇所 基本 3箇所
22	防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業 〔くらし安全推進課〕	防犯ボックスのさらなる普及に向け、今後は住民に最も身近な市町村が主体となり設置することとし、県は防犯ボックスの初期費用や運営費について助成する。また、県が平成27年度までに設置した千葉市、市川市、柏市、船橋市、の計4箇所の防犯ボックスについては、引き続き県が運営する。	3市町村に助成を実施

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>6月1日～8月19日 事例の募集（応募8件） 10月28日 外部委員による審査会（表彰事例3件） 12月21日 表彰式及び事例発表会（表彰事例3件） 会場：ホテルプラザ菜の花3階 大会議室 参加者：84名 <表彰事例> ・第5回いちほらパママフェスタ ・HIC (Happy International Communication) プロジェクト ・Y (よつかいどう) ・Y (よしおか) ・NOWSON (今どきの農村) ～地球にやさしい体験型農家生活のすゝめ～</p>	<p>応募件数については目標には至らなかったものの、8件の応募の中、3事例を大賞として選考しました。 表彰式では、表彰団体による事例発表会も併せて開催し、84名の方に参加して頂くことができました。 今後は募集段階における広報の方法の見直し等を行いながら応募件数の増加を図り、また各市町村の協働の実態に即して適宜内容を改善していく必要があります。</p>	○
<p>センターフェスティバル&ネットワーク会議 <開催日>8月7日（日）9：45～16：30 <会場>千葉県青少年女性会館 <参加者>612名（フェスティバル：537名、ネットワーク会議：75名） 佐久間レイさんによる講演会や民間団体等によるワークショップ（6つの体験講座）を行うセンターフェスティバルと、他人の意見や思いを聴き、新しい「気づき」を得る場として、ワールドカフェ方式によるネットワーク会議を開催した。</p>	<p>様々な分野における地域活動を行っている民間団体等、75名がネットワーク会議に参加しました。センターフェスティバルへの参加を通して、得たものを共有するとともに、お互いの交流を深めることができました。 今後も男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、男女共同参画に取り組む民間団体と県民の交流の場を提供していきます。</p>	◎
<p>・小域福祉フォーラム設置数322箇所（5箇所増加） ・基本福祉フォーラム設置数 28箇所（2箇所増加）</p>	<p>小域福祉フォーラムも基本福祉フォーラムもともに増加はしたものの、目標の達成には至りませんでした。 地域福祉フォーラムの設置が進むよう、地域福祉フォーラムと類似した既存の組織（団体）を含め、これまでに実績をあげている具体的な取組（例：高齢者の見守り活動や悩み相談について情報交換を行うサロン活動）を紹介するなどして、フォーラム設置のメリット等について、より一層の周知を図り、引き続き地域福祉フォーラムを推進していきます。</p>	△
<p>3市町村に助成を実施（市原市、八街市、酒々井町）</p>	<p>市町村が設置する防犯ボックスに対する助成については、目標を達成することができました。 今後は、市町村が設置した防犯ボックスが効果的な運営ができるよう支援するとともに、引き続き防犯ボックスのさらなる普及を促進するための支援を行っていきます。</p>	◎

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
23	環境講座開催事業 〔環境研究センター〕	環境学習に関する専門的な知識とノウハウを持ったNPO等を公募し、環境講座を実施する。	開催回数12回

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>7/1 第1回環境講座 テーマ「地球温暖化とどう向き合うか」(講演) 講師:国立環境研究所・高橋潔氏、広兼克憲氏 会場:きぼーる(千葉市) 参加者:63名</p> <p>7/2 第2回環境講座 テーマ「こどもエコクラブサポーター会議@ちば」(体験活動) 講師:こどもエコクラブ全国事務局長・川村研治氏 会場:浦安市中央公民館 参加者16名</p> <p>7/13 第3回環境講座 テーマ「大人の施設見学～産廃ごみを宝にする～」(施設見学・バスツアー) 講師:石坂産業(株)会場:石坂産業工場(埼玉県入間郡) 参加者:39名</p> <p>7/28 第4回環境講座 テーマ「夏休み 親子で作ろう!かわいーい!カラフル!エコはがき」(体験活動) 講師:環境カウンセラー・廣田由紀江氏 会場:五井会館(市原市) 参加者:37名</p> <p>8/4 第5回環境講座 テーマ「夏休み 海の生きものと会える日」(体験活動・バスツアー) 講師:NPO法人千葉自然学校・神保清司氏 会場:大房岬自然公園(南房総市) 参加者:32名</p> <p>8/11 第6回環境講座 テーマ「環境研究センターの最新の調査・研究の紹介」(講演) 講師:千葉県環境研究センター職員 会場:千葉県青少年女性会館(千葉市) 参加者:71名</p> <p>8/19 第7回環境講座 テーマ「夏休み 里山の生きものと会える日」(体験活動・バスツアー) 講師:(特活)NPO富里のホテル 会場:天神谷津 参加者:30名</p> <p>9/11 第8回環境講座 テーマ「リーダー養成講座～はじめの一步 この指とまれ～第1回明日から使えるKP法」(講演) 講師:(公社)日本環境教育フォーラム理事長・川嶋直氏 会場:千葉県青少年女性会館(千葉市) 参加者:21名</p> <p>9/22 第9回環境講座 テーマ「こども環境会議ちば」(体験活動) 講師:国際青少年研修協会・関隆嗣氏 会場:幕張メッセ国際会議場 参加者:87名</p> <p>10/22 第10回環境講座 テーマ「森の観察会～なるほど!これが木の生命力」(体験活動) 講師:千葉県北部林業事務所・森浩也氏 会場:佐倉城址公園(佐倉市) 参加者:38名</p> <p>11/5 第11回環境講座 テーマ「リーダー養成講座～はじめの一步 この指とまれ～第2回KP法・ITの活用で発信!」(体験活動) 講師:NPO法人企業教育研究会事務局長・市野敬介氏 会場:千葉県青少年女性会館(千葉市) 参加者:16名</p> <p>11/19 第12回環境講座 テーマ「太陽熱温水器を作ろう」(体験活動) 講師:温暖化防止ながれやま代表・春田育男氏 会場:さわやかちば県民プラザ(柏市) 参加者:15名</p> <p>11/20 第13回環境講座 テーマ「ローマ法王に米を食べさせた男」(講演) 講師:羽咋市元職員・立正大学客員教授・高野誠鮮氏 会場:千葉県教育会館(千葉市) 参加者:41名</p> <p>11/26 第14回環境講座 テーマ「リーダー養成講座～はじめの一步 この指とまれ～第3回聞くことから始める団体運営」(体験活動) 講師:NPO団体 会場:千葉県青少年女性会館(千葉市) 参加者数:12名</p> <p>12/3 第15回環境講座 テーマ「リーダー養成講座～はじめの一步 この指とまれ～第4回作ってみよう活動プログラム」(体験活動) 講師:環境パートナーシップちば 会場:千葉県青少年女性会館(千葉市) 参加者数:15名</p> <p>12/19 第16回環境講座 テーマ「生活の中にある化学物質リスク」(講演) 講師:千葉県環境研究センター大気騒音振動研究室主任上席研究員・内藤季和氏、水質環境研究室室長・半野勝正氏 会場:浦安市中央公民館 参加者数:40名</p> <p>12/19 第17回環境講座 テーマ「海に漂うマイクロプラスチックの脅威」(講演・体験活動) 講師:東京農工大農学研究院教授・高田秀重氏 会場:浦安市中央公民館 参加者:50名</p> <p>1/19 第18回環境講座 テーマ「バスで行く施設見学 最新!ゴミ発電見学と老舗!蔵元見学」(施設見学・バスツアー) 講師:成田富里いずみ清掃工場、飯沼本家(株) 会場:成田富里いずみ清掃工場、飯沼本家(株) 参加者数:42名</p>	<p>環境講座の開催については、目標を達成することができました。 今後も、目標達成に努めてまいります。</p>	<p>◎</p>

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
24	ちば中小企業元気づくり基金事業 地域プロデュース支援事業 〔経済政策課〕	中小企業者をはじめ、地域住民、NPOや商工団体等が連携して取り組む、地域ブランドのシーズ発掘、商品化の道を探るなどの企画業務、地域資源を活用した企画の実践やイベント実施、空き店舗活用事業などに対して助成する。	地域プロデュース事業助成 1件 地域活性化事業助成 7件
25	法人の森事業（法人の森協定） 〔森林課〕	社会貢献や環境活動を希望する企業や団体に対し、県有林の一部を「法人の森」として提供することで、CSR活動としての森林整備活動・森林環境教育活動をサポートする。	事業PR（ホームページ他） 協定締結 2件
26	里山活動の支援 〔森林課〕	景観維持や県土保全等の里山の持つ多面的機能を持続的に発揮するため、地域住民や企業、里山活動団体等の多様な人々の参画による森林整備活動が促進されるよう支援を行う。	里山活動団体や企業が整備・保全する森林面積を増やす。
27 再掲	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業〔警察本部生活安全総務課〕	自主防犯活動に意欲のある若い世代（県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満）により若手防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」を結成し、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図る。また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施する。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。
28 再掲	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業 〔警察本部生活安全総務課〕	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施する。その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催する。さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施する。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>地域プロデュース事業助成 3件 地域活性化事業助成 5件</p>	<p>地域プロデュース事業助成については、目標を達成することができました。 地域活性化事業助成については、1件あたりの申請額が計画時よりも大きかったこともあり、件数が目標を下回りました。今後も事業の効果的な推進に努めてまいります。</p>	○
<p>(事業のPR) ・9/22 エコメッセ2016inちば(幕張メッセ) ・12/8～10 エコプロ2016 (東京ビッグサイト) ・ホームページによるPR (協定締結) 新規1件、更新3件</p>	<p>協定締結件数については、目標を達成することができました。 引き続き事業PRに努めてまいります。</p>	◎
<p>多様な主体による森林整備活動への参画や協働を支援するための総合窓口を設置 (NPO法人に業務委託) し、各種相談対応等を行った。 ・相談件数 173件 ・安全講習会開催 2回 ・ちば里山カレッジ研修開催 4回 ・活動団体へのアンケート調査実施 155団体 ・広報誌発行 3回</p>	<p>各種相談に対応し、地域住民、企業、里山活動団体とのマッチングを図ることができました。 引き続き多様な主体による森林整備活動への参画や共同を支援するための総合窓口の運営に協力し、事業の効果的な推進に努めてまいります。</p>	○
<p>県内外各地で実施された防犯キャンペーンや研修会に「ブルー・スターズ」の会員が延べ10回58人参加した。また、平成29年1月末までに、新規会員10人が入会した。 【ブルー・スターズ参加のキャンペーン等】 ・密輸防止キャンペーン(成田市) ・「ロックの日」防犯キャンペーン(千葉市) ・痴漢撲滅キャンペーン(浦安市) ・薬物乱用防止キャンペーン(千葉市) ・地域防犯力の向上に関する交流大会(千葉市) ・警察ふれあいフェスタ2016(千葉市) ・ブルー・スターズ研修会(警察本部) ・読売防犯セミナー(習志野市) ・年末年始特別警戒取締り出動式(千葉市) ・ブルー・スターズ総会(警察本部)(3月予定)</p>	<p>県内外各地で開催された防犯キャンペーンや研修会に「ブルー・スターズ」の会員が参加したことにより、若年層の防犯意識や規範意識の向上が図られた。今後は、新規会員の更なる増加を目指すとともに、会員による自主的な運営、県内外の他団体との交流を図ることが課題である。</p>	新規会員が増加し、各種イベントにおいて活躍した。
<p>自主防犯ボランティア団体の普及や活動の活性化等を図るため、次の活動を実施した。 ・警察官との合同パトロール 2,964件 ・防犯講話 5,321件 ・広報啓発キャンペーン 969件 (いずれも数値は平成28年中)</p>	<p>合同パトロール、防犯講話等の実施により、自主防犯ボランティア団体の活動の活性化が図られた。自主防犯ボランティア団体を構成する者の高齢化が進んでおり、若い世代の参加促進を図ることが課題である。</p>	自主防犯団体に対し、防犯講話や情報提供を通じて、その活動の支援を促進した。

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
29	千葉県警察学生サポーター「ChIPSS」活動 〔警察本部少年課〕	非行少年を生まない社会づくりの推進事業の一環として、少年の非行問題に関心があり、熱意と行動力を有する大学生を千葉県警察学生サポーターに委嘱（募集人員40人）し、警察、学校、地域と協働して、学習・スポーツ支援、居場所づくり等の立ち直り支援、街頭補導等の非行防止活動や健全育成活動を実施する。	少年の非行防止や健全育成活動を推進します。
30	少年補導員・少年指導員活動 〔警察本部少年課〕	少年の非行防止及び健全育成を図るため、少年警察ボランティアを委嘱し、地域住民と協働した街頭補導活動や環境浄化活動等を推進する。	街頭補導活動や環境浄化活動等を推進します。

(2) 地域コミュニティの活性化を支える連携を担う人材づくり

No.	事業名	事業概要	実施目標
31	災害時外国人サポーター養成講座 〔国際課〕	災害時における外国人支援として、外国語通訳や避難所での対応の仕方など外国人支援を行うサポーター養成講座を開催する。	開催回数2回
32	通訳ボランティア養成事業 〔国際課〕	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、国際理解・交流の促進、外国人が安心して生活できる多文化共生社会づくりを推進し、多言語によるコミュニケーション支援体制を整備するため、通訳ボランティア養成研修を実施する。	7講座

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>○「ChiPSS」委嘱状況 39人 (男性14人、女性25人) 「ChiPSS」活動状況(計170回、282人) ・街頭補導活動 95回、146人 ・広報啓発活動 17回、22人 ・スポーツ・学習支援活動等 22回、22人 ・居場所づくり支援 7回、30人 ・その他(研修等) 29回、62人</p>	<p>ボランティアの各種活動を通じて、少年の非行防止や健全育成活動を推進しました。熱意・行動力のある大学生の獲得・委嘱に努めます。</p>	<p>ボランティアの各種活動を通じて、少年の非行防止や健全育成を推進しました。</p>
<p>○少年補導員(兼少年指導委員) 533人 ○少年指導委員 (少年補導員と兼務。単独委嘱は63人) 596人</p> <p>少年補導員、少年指導委員の活動状況 延べ1,777回 ・街頭補導活動 1,108回 ・広報啓発活動(キャンペーン) 128回 ・環境浄化活動 13回 ・その他 533回</p>	<p>ボランティアの各種活動を通じて、街頭補導活動や有害環境の浄化活動を推進しました。熱意・行動力のあるボランティアの獲得・委嘱に努めます。</p>	<p>ボランティアの各種活動を通じて、街頭補導活動や環境浄化活動を推進しました。</p>

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>委託先:特非)多文化共生マネージャー全国協議会 第1回(1/28) 会場:松戸市 参加者:44名(日本人) 第2回(2/4) 会場:松戸市 参加者:38名(日本人), 45名(外国人)</p>	<p>講座回数や参加者数については、概ね目標を達成できました。 今後は、人材のネットワーク化をどう進めるかを検討していきます。</p>	<p>○</p>
<p>委託先:(公財)ちば国際コンベンションビューロー 第1回(7/6、7/13、7/20)会場:成田市 第2回(8/24、8/31、9/7)会場:船橋市 第3回(9/24、10/1、10/8)会場:千葉市 第4回(11/12、11/19、11/26)会場:千葉市 第5回(12/7、12/14、12/21)会場:柏市 第6回(1/17、1/24、1/31)会場:大網白里市 各回30名定員で実施。176名が受講修了し、 語学ボランティア登録 (英語154名、中国語10名、スペイン語10名)</p>	<p>講座回数や受講者数については、概ね目標を達成できました。 今後は、登録した語学ボランティアの活動機会の確保を図ってまいります。</p>	<p>○</p>

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
33	災害対策コーディネーターの養成 〔防災政策課〕	地域の防災活動や災害時の支援活動において中心的な役割を担う「災害対策コーディネーター」など、地域の防災リーダーを養成する市町村の取組について、「千葉県地域防災力向上総合支援補助金」の活用等により支援する。	災害対策コーディネーターの増加
34	災害対策コーディネータースキルアップ講座 〔防災政策課〕	災害対策コーディネーターが、広域的な連携・協力関係を築き、より実践的な防災知識を習得するため、災害対策コーディネータースキルアップ講座を開催する。	開催回数 1回
35	コミュニティソーシャルワーカー（CSW）育成事業 〔健康福祉指導課〕	地域福祉活動を担う方を対象とする「基礎研修」、社会福祉等に係る個別支援又は相談支援を担う方を対象とする「専門研修」、専門研修の修了者を対象とする「フォローアップ研修」を実施し、地域において活躍する人材の育成・スキルアップを図る。	1 基礎研修 定員150名以上 ※複数回の開催の場合は合計 2 専門研修 定員30名以上 ※複数回の開催の場合は合計 3 フォローアップ研修 定員20名以上 ※複数回の開催の場合は合計
36	千葉県生涯大学校における地域を担う人材の育成 〔高齢者福祉課〕	高齢者が地域の様々な問題解決に向け、専門性を身につけ、地域活動の担い手として活躍することができる人材を養成する。	入学者数の増加
37	食生活改善推進員研修事業 〔健康づくり支援課〕	各市町村で活動している食生活改善推進員に対し、活動の意義と技術について教育研修を行い、資質の向上を図る。	開催回数21回 参加人数630名

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>①市原市主催 災害対策コーディネーター養成講座 6月11日、12日、18日開催 【受講者53名、登録者51名】 市原市姉崎保健福祉センター</p> <p>②袖ヶ浦市主催 災害対策コーディネーター養成講座 7月2日、3日、9日 【受講者30名、登録者24名】 袖ヶ浦市平川公民館</p> <p>③木更津市主催 災害対策コーディネーター養成講座 1月21日、22日、28日 【受講者29名、登録者29名】 木更津市民総合福祉会館</p>	<p>【結果】 今年度においては、新たな災害対策コーディネーターを104名登録することができ、登録者数は974名となった。</p> <p>【課題】 災害対策コーディネーター養成講座を実施する市町村に偏りがあるため、市町村に対し、総合支援補助金の活用等による養成講座の実施について、引き続き働きかけを行っていく。</p>	◎
<p>1月19日に、災害対策コーディネータースキルアップ講座を開催。83名が受講した。</p>	<p>【結果】 目標どおりスキルアップ講座を1回開催し、83名が受講した。</p> <p>【課題】 今回は、定員100名のところ、181名の応募があり、多数の落選があった。講座を大きな会場で実施する等、多くの災害対策コーディネーターに最新の防災知識を伝播するための方策を検討する。</p>	◎
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修受講者数 214名 (実施数5回) ・専門研修受講者数 69名 (実施数5日間) ・フォローアップ研修受講者数 15名 (実施数1回) 	<p>フォローアップ研修以外の定員については、目標を達成することができました。 引き続き、人材の育成・スキルアップを図っていきます。</p>	○
<p>入学者数 1,239名 (平成28年4月1日現在)</p>	<p>入学者数については、前年比138名増となり、目標を達成することができました。今後も、入学者数の増加対策に努めます。</p>	◎
<p>開催回数：20回全て終了 参加人数：744名</p>	<p>千葉県食生活改善協議会に加入していないボランティアにも参加について呼びかけしたところ、予定を超える参加数となることもあり、広く研修を行えた半面、実施方法に工夫が必要なこともあり、来年度以降は参加対象等を検討します。</p>	◎

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
38	がん検診推進員育成講習会事業 〔健康づくり支援課〕	各市町村の母子保健推進員、健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を目指す。	年6回の講習会を開催し、がん検診推進員の増員を図る。
39	精神保健福祉ボランティア育成事業 〔障害福祉課〕	現在活動中の精神保健福祉ボランティア及び心の保健医療通訳ボランティアを対象に、フォローアップ講座や研修会を開催する。（精神保健福祉センターにおいて実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座 講座(2日)の開催 ・心の保健医療通訳ボランティア講座 講座(2日)の開催
40	外国語観光ボランティアガイド養成講座開催事業 〔観光企画課〕	外国人観光客が訪れる観光地において、外国語による観光ガイドを務めて頂けるよう、説明方法などの実践的な養成講座を開催する。	魅力的な観光地づくりの担い手となる人材の育成

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>①印旛山武ブロック：10/25開催 受講者：45人 「正しく知ろう！乳がんの早期発見について」</p> <p>②東葛南部ブロック：10/28開催 受講者：27人 「肺がん予防・早期発見のために～肺がん検診と禁煙のポイント～」</p> <p>③夷隅長生ブロック：12/14開催 受講者：26人 「正しく知ろう！乳がんの早期発見について」</p> <p>④松戸野田ブロック：1/16開催 受講者：95人 「子宮頸がん講座～検診を受けに行こう～」</p> <p>⑤香取海匝ブロック：1/20開催 受講者：39人 「子宮頸がんの病態や検診・予防の重要性について」</p> <p>⑥安房君津市原ブロック：2/28開催 受講者：70人 「子宮がんについて」「妊産婦等の喫煙対策について」</p>	<p>県内6ブロックで講習会を開催し、計302名のがん検診推進員を育成しました。また、講習会終了後のアンケート調査では、84.8%が声かけ運動を行うための参考になったと回答しており、各地域においてがん検診の声かけ運動等の促進が期待されます。</p> <p>今後も引き続き、がん検診推進員の増加を図っていきます。</p>	◎
<p>・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座 (会場:千葉市民会館) 10/28 第1回 テーマ①「生活のしづらさを支援する」 講師:成田地域生活支援センター センター長 橋本美枝氏 テーマ②「私たち、こんなボランティアしています！ ～当事者のボランティア活動を支える～」 講師:NPO法人すずらん 参加者21名</p> <p>11/25 第2回 テーマ①「あらためて考える精神保健福祉ボランティア」 講師:心のボランティア・ちば テーマ②「地域で支える・理解を広げる ～社会福祉協議会での取組～」 講師:八千代市社会福祉協議会 新井陽一氏 参加者18名</p> <p>・心の保健医療通訳ボランティア講座 (会場:千葉市民会館) 2/21 テーマ①「精神科診察での通訳について」 講師:千葉県精神保健福祉センター 技監 林偉明 テーマ②体験談「日本で精神科医療を受けるということ」 参加者45名</p>	<p>講座を開催し、ボランティアの育成及びフォローアップについて、目標を達成することができました。</p> <p>今後は、引き続き講座を開催していきます。</p>	◎
<p>【開催】 日程：11/29、12/6、12/15 会場：県内3箇所 (北総、ベイ・東葛飾、南房総・九十九里) 対象：・日常会話が可能なレベルの語学力を有し、 これから観光ボランティアガイドに取り 組んでみたいと考えている方 ・県内観光ボランティアガイド団体に所属 している方 参加者：3箇所合計127名 講座内容： ・観光ボランティアガイドの国際化対応について ・ボランティアガイド団体によるガイド実演研修</p>	<p>県の指定する3地域で各1回開催し、計127名の参加があり、講座修了者に対して、修了証書を授与しました。</p> <p>今後は受講生の希望に応じて、観光ボランティア団体等へ紹介するなど、継続的な活動支援を行います。</p>	○

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
41	ちば食育ボランティアの活動支援 〔安全農業推進課〕	ちば食育ボランティアに対する初歩研修とスキルアップ研修を行うとともに、県内各地の優良な食育活動の事例を広く収集し、事例集としてまとめて配布する。 (ちば食育ボランティア登録者数4,483名※平成27年10月末現在)	・ちば食育ボランティア研修会 県内2箇所で開催。参加数 50名×2回。 ・食育活動事例集の作成
42	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業 〔生涯学習課〕	学校と地域が連携して、地域コミュニティを構築し、地域の子供たちを地域で育てていくため、学習支援や環境整備、登下校時の見守りなど、学校を支援する体制づくりを推進する。そのため、コーディネーターや教育活動サポーターを養成する研修会を開催する。	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業の本部の実施箇所数を平成27年度より増やす。 ※H27実績：16市町129本部（小学校145校、中学校52校、特別支援学校1校）
43	放課後子供教室推進事業 〔生涯学習課〕	すべての子供を対象として、放課後や土曜日等に小学校の余裕教室等を活用し、安全に配慮しながら地域住民の参画を得て、交流活動等に取り組むなど、心豊かで健やかな子供の育成を目指す。そのため、コーディネーターや教育活動サポーターを養成する研修会を開催する。	放課後子供教室対象学校数を平成27年度より増やす。 ※H27実績：28市町194校を対象に実施
44	「読み聞かせボランティア入門講座」の開催 〔中央図書館〕	絵本の読み聞かせについての講演及び参加者による実演と講師のアドバイス等を行い、読書の重要性や本の選び方や読み聞かせの方法など、実践に役立つスキルを学ぶ。	開催回数2回 参加数80人

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>7/13 平成28年度ちば食育ボランティア研修会 講義:ボランティアについて30分 県民生活・文化課 事例発表:ちば食育ボランティア2名×15分 情報交換:6グループに分かれての情報交換 会場:千葉県生涯学習センター 大研修室 参加者:76名</p> <p>10/27 平成28年度ちば食育ボランティアスキルアップ研修会 講義:食品表示を正しく理解するために ワークショップ:8グループに分かれて子供対象のワークショップを体験し、手法等を学ぶ ①食べもの身上調査(私はだれでしょう) ②早寝、早起き、朝ごはん 会場:千葉県生涯学習センター 参加者:71名</p> <p>・食育活動事例集3,000部の作成、配布 73事例を掲載</p>	<p>・ちば食育ボランティア研修会については目標を達成。 引き続き、研修会を開催しボランティアのスキルアップを図っていきます。 ・食育活動事例集については目標達成。 事例集を活用した情報交換等により、地域における活動を促進します。</p> <p>次年度は、市町村、ボランティア、サポート企業等、多様な食育関係者の連携をさらに促進するため、千葉県食育推進大会の開催を予定している。</p>	◎
<p>16市町133本部(小学校145校、中学校52校、特別支援学校1校、義務教育学校1校)で実施</p>	<p>実施対象が、平成27年度の16市町129本部から16市町133本部に増え、目標を達成できた。</p>	◎
<p>29市町229校を対象に実施</p>	<p>実施対象が、平成27年度の28市町194校から29市町229校に増え、目標を達成できた。</p>	◎
<p>「絵本の読み聞かせー選び方と読み方の実践ー」 10月28日 芝山町中央公民館 講師 にんじん文庫・主宰 入交静氏 23名 1月26日 鋸南町立中央公民館 講師 ゆか下文庫・主宰 小谷孝子氏 ゆか下文庫 東ひろみ氏 36名 計59名</p>	<p>図書館のない市町村で開催して、県内全域に読み聞かせの基礎の普及については目標を達成できた。課題としては、開催地が不便なため広報が重要である。</p>	○

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

(3) 市民活動団体等と県行政・市町村行政の協働の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
45	市町村と市民活動団体との連携促進事業 〔県民生活・文化課〕	各市町村の協働に関する取組や市民活動支援センターの機能強化を支援するとともに必要に応じ専門家の派遣等を行う。	派遣回数 10回
46	学校と市民活動団体との連携促進事業 〔県民生活・文化課〕	地域の民間教育力を活用した地域協働の活性化を図るため、教職員向けの講座を実施することにより、NPOと学校が連携するための環境づくりを促進する。	開催回数 3回
47	県・市町村推進会議の開催 〔県民生活・文化課〕	効果的なNPO・ボランティア施策形成に向けて、県と市町村とがNPO・ボランティア施策に関する情報交換・意見交換等を行う推進会議等を開催し、県と市町村との一層の連携と協力を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村市民活動調査の実施 ・担当課長会議：1回開催 ・推進会議：1回開催(他事業との合同開催も含む)
48	協働推進研修会の開催 〔県民生活・文化課〕	県及び市町村職員を対象に、協働について理解を含め、協働の推進や協働の仕組みづくりの参考となるような研修会を開催する。	開催回数1回

進捗状況	現時点での評価	達成度
<ul style="list-style-type: none"> 市町村の協働に関する取組の進捗状況を収集・取りまとめて各市町村に提供し、市町村の取組を支援しました。 市民活動団体との協働を進めるための助言を求める2市に対して、延べ4回専門家を派遣しました。 派遣実績 7月22日（金）白井市市民活動推進センター研修会 9月28日（水）富里市協働のまちづくりモデル事業 1月25日（水）富里市協働のまちづくり講座 3月22日（水）富里市協働のまちづくり講座 派遣した専門家 牧野 昌子氏 （特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表）	専門家の派遣は10回の目標に対して、実績4回と少なかつたため、利用の促進を図っていきま	○
<ul style="list-style-type: none"> 講座のテーマ「学校とNPOとの連携」 1回目 8月23日実施 「県立学校等新任教務主任研修」 参加者43名 2回目及び3回目（合同開催） 9月23日実施 「県立学校等企画・運営リーダー育成研修」参加者157名 	当初の目標どおり3回の講座を開催し、アンケート結果では1回目では95%、2回目及び3回目では88%の参加者がNPOへの理解が深まったと回答しており、講座を開催した効果がありました。	◎
<ul style="list-style-type: none"> 市町村が実施するNPO・ボランティア関連事業、及び市町村市民活動施策の進捗状況を調査し、調査結果を県民、市町村等に情報を提供 平成28年度市町村市民活動担当課長会議 日時：4月25日 会場：千葉市ビジネス支援センター 参加者：37市町村49名 内容： 県民活動推進施策説明 講演「オリンピック・パラリンピックに向けたボランティア活動について」等 ちばコラボ大賞表彰式及び協働推進研修会と合同開催 日時：12月21日（水）13時30分～16時 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村市民活動調査については、予定どおり実施しました。 市民活動担当課長会議については、欠席する市町村が多いため、参加を促進する努力が必要と考えます。 	○
ちばコラボ大賞表彰式及びパートナーシップ推進会議と合同開催 日時：12月21日（水）13時30分～16時 会場：ホテルプラザ菜の花3階大会議室 参加者：19名	1回の開催を行い、実施目標は達成できました。 ちばコラボ大賞受賞者の事例発表やパネルディスカッションを行うことにより、市町村における協働の促進に向けた、日々の実践につながる具体的な協働事例を学ぶ機会をつくることができました。 今後も市町村における協働推進に資する機会の提供を図りたいと思います。	◎

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
49	パートナーシップ推進 員会議の開催 [県民生活・文化課]	県庁内における市民活動団体及び市民活動推進施策に対する理解を促進し、協働の体制を強化するため、県行政の関係課職員をパートナーシップ推進員として指定し、推進員会議を通じて理解促進や情報共有を行う。	開催回数2回

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>第1回 日時：5月20日（金）10時～12時 会場：千葉県文書館6階多目的ホール 参加者：39名 ①県民活動推進計画（平成27～29年度）について ②パートナーシップマニュアル（第5版）について ③協働ガイド（ちばコラボナビ）について ④講演 「これからの協働に何が問われるか？ ～県庁職員に求められるもの～」 講師：千葉大学 法政経学部教授 関谷 昇氏</p> <p>第2回 ちばコラボ大賞表彰式及び協働推進研修会 と合同開催 日時：12月21日（水）13時30分～16時 会場：ホテルプラザ菜の花3階大会議室 参加者：17名 （パートナーシップ推進員14名、その他3名）</p>	<p>2回の開催を行い、実施目標は達成できました。</p> <p>第1回パートナーシップ推進会議では、パートナーシップマニュアル等の説明の後、関谷教授に講演いただき、県職員に求められる協働の必要性、考え方の理解を促進することができました。</p> <p>第2回パートナーシップ推進会議では、ちばコラボ大賞受賞者の事例発表やパネルディスカッションを行うことにより、具体的な協働事例の紹介を行うことができました。</p> <p>今後も県職員として協働をいかに促進していかけるかを考える機会の提供を図るとともに、各課との連携体制の強化を図りたいと思います。</p>	<p>◎</p>

3 市民活動団体等の基盤強化等の支援

市民活動団体等の抱える人材面、資金面の課題に対して適切な支援を行うことのできる中間支援組織の支援や民が民を支える仕組みの普及を通じて、団体が持続的に活動できる環境整備に向けた基盤強化等を図ります。

【事業の実施状況】

市民活動団体等の基盤強化等の支援について、市民活動団体の運営能力の向上を支援するため、組織運営や資金調達など、団体の課題解決に関する各種講座・セミナーを実施しました。実施にあたっては多くの地域で実施できるよう各市町村から希望をとり、計6つの会場において講座を開催しました。

また、中間支援組織の機能向上と連携強化を図る千葉県市民活動支援組織ネットワーク事業では、スタッフ同士の交流・情報交換の機会を提供したほか、ネットワーク構成員でノウハウを共有できる新たな仕組みづくりについての検討を行いました。全体として年度当初に予定した内容及び目標についてはおおむね達成することができました。

(1) 市民活動団体等の組織運営力等の向上支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
50	市民活動マネジメント事業 〔県民生活・文化課〕	市民活動団体が安定的・継続的に活動していくために必要な運営能力の向上を図るため、市町村と共催で市民活動団体マネジメント講座を実施する。講座は活動経験の浅い団体向けの基礎編と、ある程度活動経験を積んだ団体向けの応用編を開催し、マネジメント能力の向上を促進する。	①基礎編 開催回数4回 ②応用編 開催回数2回

【成果指標】

目標項目	現 状 (26年度)		27年度	28年度	29年度
市民活動団体の活動へ参加 (活動・寄付・支援) して いる人の割合	23.4%※1	目標	24.8%	26.2%	27.5%
		結果	33.0%	31.0%	
		目標比	+8.2%	+4.8%	
		前年比	+9.9%	-2.0%	
寄付を受けたことがあるN PO法人の割合	58.2%※2	目標	60.5%	62.8%	65.0%
		結果	55.4%	50.3%	
		目標比	-5.1%	-12.5%	
		前年比	-2.8%	-5.1%	

※1 第48回県政に関する世論調査結果より

※2 千葉県NPO法人実態調査結果より

【今後の課題】

成果指標について「市民活動団体の活動へ参加（活動・寄附・支援）している人の割合」，「寄附を受けたことがあるNPO法人の割合」がともに減少しているため、今後も引き続き、市民活動団体が自律的に活動できるようになるための基盤強化支援を展開していく必要があります。また成果指標の推移から、県民の寄附に対する関心度が下がってきていることが懸念されるため、民が民を支える環境づくりについても、効果的な方法を検討していく必要があると考えられます。

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>(1)基礎編</p> <p>①日時:11月11日(金)午前10時～午後12時 会場:サンロード津田沼大ホール 内容:「市民活動団体の安定運営につながる助成金の活用」講師:坂口和隆氏(認定特非 日本NPOセンター 事務局次長) 参加者:37名</p> <p>②日時:12月3日(土)午後2時～午後4時 会場:野田市市民活動支援センター 内容:「NPO法人会計基準の意義と導入のメリットを学ぶ」講師:豊岡正弘氏(特非・NPO支援の税理士ネットワーク理事長) 参加者:25名</p> <p>③日時:12月3日(土)午後2時～午後4時 会場:印西市市民活動支援センター 内容:「会員を増やすために効果的なホームページの作り方」講師:菅 文彦氏(合同会社コーズ・アクション代表) 参加者:26名</p> <p>④日時:1月20日(金)午後2時～午後4時 会場:千葉市ビジネス支援センター第3会議室 内容:「NPO法人会計基準の意義と導入のメリットを学ぶ」講師:荒木康仁氏(特非・NPO支援の税理士ネットワーク理事) 参加者:29名</p> <p>(2)応用編</p> <p>①日時:10月21日(金)午後1時30分～午後4時30分 会場:千葉県自治会館第1会議室 内容:「市民活動団体の基盤強化とネットワーク構築」講師:五井渕 利明氏(特非CRファクトリー事業部長) 参加者:19名</p> <p>②日時:11月19日(土)午後1時～午後4時 会場:船橋市中央公民館第3・4集会室 内容:「助成金獲得につながる申請書の書き方を学ぼう!」講師:安藤 雄太氏(東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー) 参加者:19名</p>	<p>基礎編・応用編とも目標の回数どおり講座を実施し、参加者は定員の97%に達し、アンケート結果でも8割を超える参加者が講座を評価しており、講座を開催した目的は達成できました。来年度も引き続き効果的な講座の開催に努力していきます。</p>	◎

3 市民活動団体等の基盤強化等の支援

(2) 中間支援組織の機能強化支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
51 再掲	ボランティアセンター・市民活動支援センター等研修会及び交流会の開催 〔県民生活・文化課〕	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催する。	開催回数：1回 参加人数 50名
52	市民活動支援組織ネットワークによる中間支援組織の機能向上と連携強化 〔県民生活・文化課〕	市民活動支援組織の機能向上及び連携強化のため、県内の主要な市民活動支援組織の関係者を構成員とする千葉県市民活動支援組織ネットワークを運営し、支援組織に必要とされるノウハウや知識を習得するための研修を実施する。	ネットワーク会議等の開催回数 4回

(3) 民が民を支える仕組みの普及・支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
53	民が民を支える仕組みの普及・支援 〔県民生活・文化課〕	「民が民を支える仕組み構築モデル事業」(H23～24)において構築された仕組みについては、県が実施するイベントや県ホームページ等において周知・PRするほか、運営主体との情報交換や意見交換を行うなど、協力することで、仕組みの活用促進を図る。	運営主体との情報交換の場を設ける

進捗状況	現時点での評価	達成度
<p>3/15 市町村ボランティアセンター・市町村市民活動支援センター合同研修会及び交流会 内容 (1) 講演及びトークセッション テーマ「災害時に効果的な連携が可能となる平常時からの取り組み～広島土砂災害における支援活動を振り返る～」 講師 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 代表理事 センター長 中村隆行 氏 (2) 事例発表 ①「防災ハンドブックの制作～災害に備えるコミュニティづくりについて～」 NPO法人パートナーシップながれやま 代表 山口文代氏 ②「常設型災害ボランティアセンターの取り組みについて」 浦安市社会福祉協議会 佐久間大輔 氏 (3) ワークショップ テーマ「今、地域力を高めるために中間支援組織の取り組むこと」 (4) 交流会</p>	<p>参加人数については、目標には至らなかったものの、研修内容については、アンケート回答者15名のうち、12名が「大変よかった」「よかった」と回答しており、好評を得ることができました。 基調講演では、災害の中での中間支援組織の意義と現状、機能について再確認することができ、ワークショップでは、グループマインドマップの作成などを行い、ボランティアセンター、市民活動支援センター双方のスタッフにとって有意義な研修会となりました。 今後はより多くのセンタースタッフに参加してもらえるよう内容の検討などを行い、中間支援組織の機能充実にに向けた支援を進めていきます。</p>	○
<p>(1) 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議 第1回 9月13日(火)午後1時30分～午後4時 会場:千葉市ビジネス支援センター会議室1・2 参加者54名 内容:講義とワークショップ 第2回 2月3日(金)午後1時30分～午後4時55分 会場:千葉県教育会館604会議室 参加者53名 内容:講義とワークショップ (2) 千葉県市民活動支援組織ネットワーク幹事会 第1回 6月29日(水) 第2回 10月14日(金) 第3回 12月7日(水) 第4回 3月10日(金)</p>	<p>ネットワーク会議の開催回数については目標を達成できませんでしたが、ネットワーク幹事会や構成員等の協力のもと、受講者満足度の高い研修会を開催することができました。 今年度は研修会の実施だけではなく、構成員同士で共有することができるツール作成に向けての検討を行うなど、新しい試みにも挑戦しました。 今後は、今年度の協議内容や開催結果などをもとにツール作成に向けて取り組むほか、県内の市民活動支援組織の支援力の向上につながるような研修会等を企画していく必要があります。</p>	△

進捗状況	現時点での評価	達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県ホームページにおいて関係資料及びイベント情報を掲載 ・ 市民活動団体から依頼を受けたチラシを県民活動情報オフィスにて提供するなど、情報提供の支援を実施 	<p>県ホームページおよび県民活動情報オフィスでの情報提供などを行ったほか、「協働によるコミュニティづくりの普及・促進事業」で開催したセミナーにおいて事例発表の機会を設けるなど、周知・PRを図りました。 今後も継続して事業に取り組み、周知・PRを継続することで仕組みの活用促進を図りたいと思います。</p>	◎